

2015年12月9日(水)
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報第55号

リオ市内ボタフォゴ地区で強盗事件に伴う銃撃戦が発生

当地主要紙「オ・グローボ」電子版「G1」によれば、ボタフォゴ地区、フラメンゴ地区で強盗事件に伴う銃撃戦が発生しています。

- 1 12月9日(水)早朝、リオ市内ボタフォゴ地区メナ・バレット通り(Rua Mena Barreto)に所在の飲食店で強盗事件を起こした3人の武装したグループが、同地区を巡回中の州軍警察パトカーに出くわし、銃撃戦に発展した。その後犯人グループは車両に乗車して逃走した。
- 2 フラメンゴ地区のホテル、ノボ・ムンド前(プライア・ド・フラメンゴ通り)付近で、追跡してきたパトカー3台と犯人グループの乗った車両との間で再び銃撃戦が発生し、周りに駐車していた3台の車両に流れ弾が命中した。
- 3 その際、軍警察の車両は他の一般車両に衝突、車両は大破し、乗車していた警察官が怪我をした。
- 4 その後、犯人は車両で逃走し、カテチ地区のBento Lisboa通りのファベール Santo Amaro 近くで車両を乗り捨て、そのまま同ファベール方面に逃げ込んだ。
- 5 州軍警察では、9日、カテチ地区のファベールの搜索を行い、犯人とみられる男3人の身柄を拘束し、拳銃一丁と偽造拳銃一丁をそれぞれ押収した。

【当館から】

- 日本とは異なり、銃撃戦が身近なところで発生していることを認識して、深夜、早朝等の外出はできるだけ控えましょう。
- ボタフォゴ、フラメンゴ地区のような邦人居住地においても、至近距離に複数のファベールが存在します。うっかり迷い込むことのないように注意しましょう。
- ファベール周辺は状況が通常の地区とは明らかに異なりますので「おかしい」と思ったら、すぐに元に来た道に戻るようにしましょう。
- 万が一銃声を聞いたときは、なるべく低い姿勢を取り、銃声が収まるのを待ちましょう。